

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (90 ~ 95)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	05				✓	✓	✓	ε	3		
	91			25YR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	ε	3		
	05				✓	✓	✓	ε	4		
	92			25YR 1/3 灰褐色	✓	✓	✓	ε	3		
	05				✓	✓	✓	ε	3		
	93										
	05				✓	✓	✓	δ	3		
	94				✓	✓	✓	ε	4		
	05				✓	✓	✓	δ	3		
	95			25YR 6/2 灰褐色	✓	✓	✓	γ	3		

・90.15~90.55m 粘り状部と硬くcの主部の硬質岩片の間の砂状部、一部は割れ目の増幅(2倍)。

・90.55~90.85m m 付スライム

・90.85~91.00m 硬質岩片の4 採取土、基質の砂状部は掘進時に流失し、推定土。

● 91.35~91.54m: 破砕帯(主断面91.44m)

91.35~91.43m: Hb
 上端30°で液状、下端25°で湾曲して連続、φ2~3mm 石英粒、φ5~10mm 粘土の砂状化岩片に30%程度含む軟質岩「硬質粘土状」に呈出。色調は灰白(5Y9)~灰黄緑(10YR 7/2)。厚さ200mm

91.43~91.44m: Hc-1
 25°上端は湾曲し、下端は液状、連続、φ1mm 石英粒に砂状部(5%以下)含む軟質粘土(砂質)。色調は灰白(5Y9)。厚さ100mm

91.44~91.51m: Hb
 上端25°、下端10°で液状、連続、φ5mm 前後の硬質岩片を30%程度含む少風化した軟質岩「硬質粘土状」に呈出。色調は黄褐色(10YR 6/3)。厚さ30~60mm

91.51~91.54m: Hj
 上端10°で液状、下端20°で連続的に連続。下端面とほぼ平行で20~30°割れ目とcに10~20%程度の割れ目とφ5mm 程度の硬質Dの岩片に砂状化、岩片間には軟質粘土の岩片。全体的に「粘土混り岩片状」に呈出。色調は灰白(5Y9)。厚さ20~25mm

91.54~93.05m: D
 φ10% 前後の硬質「D」岩片と岩片間の粘土~砂状部が主、全体に軟化著しい。92.00m 付近に石英以外は砂状化。

93.05~93.66m: c_L
 20~80°割れ目とcに10~20%程度の割れ目と1~3%程度の砂状部~粘土状部を呈出

93.66~93.86m: D
 上端20°割れ目とcに粘土と砂状化の岩片(c)

93.86~94.25m: c_L
 50~70°とcに連続的に40~50°割れ目とc。
 94.25m 付近は硬く「B」。94.43m 付近は硬く「B」主部。
 ・94.25~94.31m 10~20°割れ目とcに「砂状部」に呈出。

・94.43m 付近は岩片自身は硬く「B」粘土の割合も多く含む割れ目と10~20%程度の割れ目とcに連続的に小岩片(20)割れ目の一部は20%程度まで受入。

↑

↓

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	05			2.5YR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	γ	3		
	96	95.94 96.00			✗	✗	✗	○	2		
	05			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	δ	3		
	97	97.05	Gp		✓	✓	✓	δ	3	0	2
	05			2.5YR 7/4 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3		
	98	98.05 98.19			✗	✗	✗			0	6
	05			2.5YR 6/2 灰褐	✓	✓	✓	δ	3		
	99	98.72			✗	✗	✗			0	7
	05	99.40 99.56 99.57 99.68		10YR 4/3 褐灰	✓	✓	✓	δ	4		
				2.5YR 7/3 灰褐色	✓	✓	✓	γ	2		
100					✓	✓	✓	γ	2	0	2

95.50~95.71 m は割れ目の少ない硬質、 ρ 10 m/m 程度の小片に破砕。

95.96 m: 60°割れ目に厚1mm 圧縮軟弱粘土と7227。上盤側厚2枚5%の200μm 磁鉄屑と伴う。

95.94 m ~ 98.05 m は硬土「D」の割れ目主体。20%に硬土も混入可。

96.52~97.60 m: 30~40°と60~70°割れ目が交差し、前者は後者に切し合う傾向 (右2枚3~5%)

97.07 m 幅2~3%、150 μm 磁鉄屑は伴った岩片。

97.58 ~ 97.69 m 200μm 磁鉄屑が混入、黒褐色化。

97.67 m ~ 97.98 m 硬土の岩片中に固結性の幅1~2% 白色軟弱脈状、中2~3% 磁鉄屑の分布あり

98.02 m: 幅2~5%、30°硬脈、一部は粘土割れ目化可。

98.19 ~ 98.92 m: 硬土「C」主体。割れ目面は褐色化傾向あり。割れ目には粘土割れ目部分あり。

98.92 ~ 99.50 m: 硬土「D」主体。全体の軟化(200μm)あり、変質が弱。

99.50 ~ 99.68 m: 破砕帯 (主断面 99.56 m)

99.50 ~ 99.76 m: HJ
上部30°の連続的。下部20°の連続。主断面側は20°平行割れ目数多く、これと並走60°斜交の割れ目(95~100%硬土)の岩片の細片化。岩片間に幅1~3% 白色軟弱粘土脈状の分布(粘土浸み)岩片状。一部に200μm 磁鉄屑あり。

98.69
→
試料
採取
242

96~97

99.10

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (100 ~ 105)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 100 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	
	100.36		Gp	2.5YR 7/3 赤褐色	✓c	✓IV	✓D	γ	2			<p>色調は明黄褐(10YR 6/6)、厚2.45mm。 ・99.56 ~ 99.57m: Hc-2 30°以上下端に沿って連続、φ1.5mmの大部分が細粒で 黒化して石英粒10%程度を含む半固結状粘土(砂質)。色調 は灰白(2.5YR 8/2)、厚2.5~10mm ・99.57 ~ 99.68m: HJ 上端45°に沿って、下端37°に連続的に連続。主断面と 平行な割れ目の傾斜はこれに直交60°程度に割れ目が多、5~ 20%に岩片化、割れ目の粘土は粘土と「合着せず」砂状部は 10%に「砂状の岩片化」を呈し、20%程度までの黒、褐色を 呈す。割れ目(10YR 4/3)に、厚2.45mm</p> <p>99.68 ~ 101.70m: Cc 上・下端側は硬「D」、軟部は硬「C」主体。下側側の 101.45m以降は交代、変質が「D」に進行して「D」が単化、 100.00 ~ 101.00m、密着度の低い割れ目~中層割れ目が多 含む。砂状の割れ目化が認められる。</p> <p>101.45 ~ 101.70m 幅1~2%の白色~黄色粘土の條状が多 含む</p> <p>101.70 ~ 104.28m: Cm ・上端側の101.70 ~ 102.56m 2割は硬「C」、102.56m 以降は硬「B」で硬「D」あり。 ・割れ目性状の分布は砂状の「上端側硬「C」部分 では、割れ目に砂状化→進行部分あり。 ・102.56m以降の硬「B」の短柱状の柱状コアには 幅1~2%の白色筋状の「中層割れ目」が多、分布が 1/2の径打では合着しない。 ・割れ目の粘土は塊状物に認められるが、一部は厚さ 2~3%に砂状~細粒状化部は認められる。</p> <p>103.24m、103.48mの寸法65割れ目は変質の割れ目と 同(変位量不明)、前者は厚さ2~3%、後者は2%程度の の砂には2割、2割は砂状。</p> <p>103.94 ~ 104.0m 見化=淡褐色化(軽化)す</p> <p>104.28 ~ 104.88m: Ch 硬「D」塊状 ・一部の中層割れ目(白筋状の砂)の分布が密着度 の高。1/2の径打では合着しない。</p>		
	100.50													
	101.45				2.5YR 6/2 灰褐色	✓b	✓IV	✓C	γ	2	✓0		✓5	
	101.70					✓c	✓V	✓D	δ	3				
	102.34					✓b	✓IV	✓C	γ	2				
	102.49													
	102.56					✗	✗	✗	✗	✗				
	103.24				2.5YR 5/1 褐色	✓b	✓IV	✓B	γ	2	✓1/2		✓12	Cm
	103.48					✓c	✓V	✓C	δ	2	✓0		✓8	
	103.94					✓b	✓IV	✓B	γ	2				
	104.28				✗	✗	✗	✗	✗					
	104.88				✓b	✓III	✓B	β	2			Ch		
	105.00									✓2/3	✓12			

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 105 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
	105.19		褐灰	2.5YR 5/1 褐灰									
05				2.5YR 5/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2			CH ✓	
	105.79 105.88		Gp ✓	2.5YR 7/3 橙									
106				2.5YR 7/3 橙	✓ b	✓ IV	✓ C			X	✓ 31	✓ 18	
	106.29 106.60		Gp ✓										
05					✓ b	✓ IV	✓ C			X	✓ 10	✓ 10	CM ✓
107			Gp ✓										
05	107.32 107.61			2.5YR 6/1 褐灰									
108			Gp ✓	2.5YR 7/2 明褐灰									
05	107.63 108.21				X	X	X						
109			Gp ✓	2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2			CH ✓	
05													
110										✓ 25	✓ 15		

105.16 ~ 105.19 m: 割れ目とくに厚く褐化が著しい。酸化は伴わない。

105.33 ~ 105.52 m: 割れ目とくに軽微にマンガン染染あり。

105.88 ~ 108.21 m: CM
 岩質は堅硬であるが、全体に割れ目とくに厚く褐化が著しい。中層割れ目が多く、そのほか、褐化（石灰質）のハニシ（産卵）の産卵・細片化がある。既述の厚く褐化が著しい。一部に砂状の産卵の薄層を認め、挿入物がある。割れ目が互付。

106.32 ~ 106.60 m: 中層割れ目が約10cmの間隔で密に分布。全体が褐化が著しい。一部の中層割れ目は産卵の産卵。

107.30 m 以下では、約2-3cmの細く産卵と産卵の産卵。暗緑褐色斑状の産卵の産卵。また、割れ目の面が産卵の産卵の産卵。

107.60 ~ 108.60 m: 約10cmと大型の列産卵の産卵の産卵。

108.68 ~ 108.71 m: 割れ目とくに細片化が著しい。

108.71 ~ 112.27 m: CH
 堅硬・塊状。白筋状の中層割れ目とくに産卵の産卵の産卵。同層と同化。産卵の産卵の産卵。ハニシの産卵の産卵（なし）。割れ目挿入物は分布しない。割れ目とくに厚く褐化が著しい。酸化は伴わない。

調査名

孔番・深度

127 B-3 (110 ~ 115)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05													
111					✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 25	✓ 15		CH
05													
112			GP	25YR 0/1 褐灰						✓ 12	✓ 12		
	112.27				X	X	X	X					
05					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2				CM
113										✓ 20	✓ 10		
	113.27				X	X	X	X					
05													
114					✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 22	✓ 20		CH
05													
	114.68												
115					✓ c	✓ IV	✓ B	γ	2	✓ 40	✓ 22		CM

110.30 ~ 110.95m, 60~60°と2Hに近づく斜角約10~30°
 割れ目が多く割れ目が多い。中層割れ目は密着度が高い。
 両層割れ目は後層割れ目の一部に属する。

111.14m, 70°割れ目厚2~2.5mm 緑泥石粘土と付エロゾル。
 70°の割れ目には付着物も点状に付着。

111.3/111.34m, 割れ目に薄く付着した褐色化付着。

112.00 ~ 112.27m, 70~80°と2Hに近づく20~30°の
 中層割れ目約10mmの間隔で密着付着。密着度が高い。
 高さ1.2mの層対峙 分離・細粒化等。

112.27 ~ 113.27m: CM
 堅硬であるが上下位に比べ、割れ目が多くなる。
 中層割れ目が多いが、上層の112.27 ~ 112.32mにP層が、密
 着度が高い。
 割れ目には付着物は分布せず、外面も未風化・新鮮な物が
 付着している。一部の割れ目で緑泥石粘土厚1~1.5mm程度
 付着している。

113.27 ~ 114.68m: CH
 堅硬、塊状
 割れ目は付着物の70~80°の高角度系が主で、中層割れ
 目は同傾向で密着度が高い。

114.4m, 80°の中層割れ目厚2~3mm 暗緑灰色の緑泥石粘土
 点状に付着。

114.40m 以降の割れ目一部は薄く浸染付着。酸化
 付着した付着物は付着している。

114.68 ~ 115.12m: CM
 70~80°割れ目が多い。2005、114.09 ~ 115.12m間は上層
 厚2.5cm、下層30%の付着付着している。

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (115 ~ 120)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
115	115.00											
	115.12											
05												
116				2.5YR 6/1 褐灰	b	III	B	β	2	34	12	CH
05												
	116.80		Gp		X	X	X	X		47	25	CM
117					b	IV	B	γ	2			CM
05												
	117.32				cV	v	D	δ	3			C2V
	117.39											
05												
	117.65			2.5YR 6/4 1.2mm 橙	b	III	B	γ	2	10	10	CH
118												
05				2.5YR 6/1 褐灰	b	IV	B	γ	2			CM
	118.40				X	X	X	X				
	118.47											
05												
	119.00									36	21	C2V
119												
05												
	119.14			10.9 4/1 暗緑灰	cV	v	D	δ	3			C2V
	119.25											
	119.30			2.5YR 7/1 明褐灰	c	v	D	δ	3			C2V
120												
	120.00											

115.12 ~ 116.8 m : CH
 陸地、露出度の高い中層割れ目が多い。ハ2-の割れ目
 の発達・粗片化が多い。
 115.12 m 割れ目内面に厚1mm程度の緑泥石粘土が
 付着。上層割れ目厚約300μm厚片化している。

115.90 ~ 116.10 m (b) 21 4 5%前後の橙色の割れ目
 が分布する。

116.33 m で 70-80° 湾曲した割れ目と 40° 割れ目の交差。
 後者は前者より粗大 (変位量 10% 程度)
 両割れ目の一部に厚1mm、交差部で5%の緑泥石粘
 土(粘土)が付着している。

116.80 ~ 117.32 m : CM
 一部に硬く「C」の泥石の粗大堅硬な「B」の主体
 割れ目が多い。中層割れ目は露出度が高く、ハ2-の割れ目
 も発達している。表層は白濁化している。
 粗大物は分布する。

117.32 ~ 117.39 m : C2V
 75° 割れ目: 厚さ 20-25mm 程度で粗大化している。

117.39 ~ 118.47 m : CH
 陸地、一部に割れ目が多い。厚さ 10cm 以上の層状の主体。
 白色腐食の中層割れ目が多い。大半は露出度高くハ2-の割れ目
 にも発達している。
 4-3% の暗緑色の緑泥石粘土が付着。
 割れ目には粗大物は分布する。
 117.65 ~ 118.40 m 橙色の割れ目が多く、全体に1%の橙色
 の色調を呈する。

118.47 ~ 119.00 m : CM
 上位に「C」割れ目が多い。新しい堅硬(硬く「B」)の粗大
 物は分布する。
 表層は白濁化している。

119.00 ~ 119.14 m : C2V
 同化と変質の進行に伴って粗大化している

119.11 ~ 119.25 m : 石炭層 (延べ断面 119.18 m)
 粗大(粗粒状)の石炭層。
 119.11 ~ 119.16 m : HJ
 上端 50° 連続的、下端 60° 湾曲して連続。4-10% の薄状
 層状の石炭層。割れ目は幅 1mm 以下で白色、1-3% の緑色の泥
 土の粘土が付着。粘土泥の粗片化は認められず。色調は10%程
 (2.5YR 7/4) の暗緑色 (10.9 4/1)、厚さ 30mm
 119.16 ~ 119.18 m : Hc-1
 60° 上端湾曲し、下端は連続的の連続。4-10% の石炭層が
 1-3% の粘土(粘土)が付着。色調は緑灰 (10.9 4/1)、厚さ 7-10mm
 119.18 ~ 119.25 m : HJ

70° 割れ目 (AP)

D. 1. 1. 1. (割れ目状態)

調査名

孔番・深度

H-7B-3 (120 ~ 125)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

117 ~ 120 m: P1 箱取

標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	120.10				✓	✓	✓	δ	3			C2
	05											
	121									64	31	
	05											
	122		Gp ✓	24YR 6/1 褐灰 ✓	✓	✓	✓	β	2	74	23	C4
	05											
	123									76	41	
	05											
	124									88	26	
	05											
	125									47	20	

上端 60° で直線的に、下端 40° で深部で連続、主断面と
ほぼ平行にこれ科文の割れ目 2 ~ 5 mm に細分化。岩片
間の一部は幅 1 mm 緑灰色粘土細粒が多分布。全体に
粘土混じり岩片状) 呈有。色調は暗緑灰 (109 4),
厚さ 40 mm

119.25 ~ 120.10 m : C2
目化に全体に粒化が、深部の硬質岩層一部に結晶。
割れ目一部は厚さ 2 mm の緑灰色粘土細粒を伴った。
下端の 120.02 ~ 120.07 m 割れ目主に砂状化進む。
120.09 ~ 120.10 m、60° 厚さ 10 ~ 15 mm 緑泥石脈で厚化
した。

120.10 ~ 125.90 m : C4
堅硬、塊状。
割れ目状に物は分布せず、面もほとんど未風化・新鮮。
長石の白濁化はほとんど認められない。

121.60 m : 4番割れ目の開口割れ目状になる。

122.36 m、65° 割れ目の一部に黄至赤色の晶出。

122.61 m、60° 割れ目厚さ 2 mm の褐色砂状化。

123.63 ~ 123.67 m 割れ目主に片状化した砂岩。新片は
硬質で、砂中粘土化や岩化はほとんどない。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
05					✓ b	III	✓ B	β	2		CH		125.00m 以下深では中層割れ目は32cmと分布しない。
126	125.90				X		X	X	X	✓ 29	✓ 19		125.90 ~ 128.05m: CM 堅硬であるが中層割れ目は10cm割れ目化は中 が多い。 割れ目は現在物では2割、10cm程度で新産等 10cm全長に亘り60~90°の中層割れ目は10cm割れ目化 一部ではその間では片状化は2cmと多くなる。
05			Gp	25YR 6/1 褐灰	✓ b	IV	✓ B	β	2	✓ 35	✓ 13	CMV	127.15 ~ 127.58m 80~90°の間は化して中層割れ目 数本は約10cm間隔で平行に分布 全長約50%に亘り片状化は2cmの片状化は粗粒化等 の劣化は伴わない。
128	128.05				X		X	X	X	✓ 23	✓ 12		128.05 ~ 128.78m: CH 堅硬。 128.05 ~ 129.00mに中層割れ目は10cm割れ目化は 80~90°割れ目は割れ目化は連続的だが一部EP等 片状化は認められる。
05	128.78				X		X					CH	128.78m .33°割れ目10cm、4~3cmの片状化岩片E層に 1~4cmほどあり。
129	129.00							X		✓ 34	✓ 20		128.78 ~ 129.47m: CM 自然産の中層割れ目は多く、大半は劣化度高、10cm程度に 分布する。 割れ目現在物の侵入は分布しない。
05	129.47				✓ b	IV	✓ B	γ	2			CM	
					X		X	X	X				
					✓ b	V	✓ B	γ	2			CL	129.47 ~ 129.84m: CL 劣化度の低い中層割れ目は多く分布し 現在物も侵入は分布しない。
	129.84							X					
	129.85							X					
130	129.91				25YR 6/2 褐灰	20	20	20	20	✓ 20	✓ 10	CL	129.84 ~ 129.85m: Hc-2 129.84 ~ 129.91m: 破砕帯(主断面129.84m) 129.84 ~ 129.85m: Hc-2

調査名

孔番・深度

H-7 B-3 (130 ~ 135)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
130	05	130.59	Gp	2.5YR 6/2 灰褐	c	B	γ	2		C _L	<p>70° ± 上部色緑の、下部淡褐色に連続。φ1~3mm 石英粒、φ2~3mm 岩片 10~20% 含む 軟質粘土 (0.5%)。色調は緑灰 (10G5Y)。厚さ 2~5mm の一部厚さ 0.5mm の片状部分あり。</p> <p>・129.85~129.91 m: HJ 上部 20° ± 濃緑にて、下部 60~70° ± 淡褐色に連続。φ2~5mm 片状岩片化し、岩片間は粘土~砂状化あり。粘土量は他の HJ 層より多い。全体的に「粘土質岩片化」を呈す。 色調は黄緑~灰色を呈す (10G5Y)。厚さ 25~35mm</p> <p>・129.91~130.57 m: C_L 岩片は堅硬であり、高角度割れ目、中層割れ目 0°、1~2cm 間隔で分布し、片状の砂岩を呈す。 割れ目により薄く砂状化している。</p> <p>・130.57~131.27 m: C_M 自然崩壊の中層割れ目 0° の密着度 1/2~1/3 の岩片化を呈し、細片化している。</p> <p>・130.75~130.90 m: 幅 0.5~5cm 白色方解石脈状に分布。</p> <p>・131.27~132.41 m: C_H 堅硬・塊状 1/2 砕至半 自然崩壊の中層割れ目 0°、周囲と同化し、1/2 の色調を呈する。</p> <p>φ2~3mm 暗緑色の緑泥石斑点を呈し、全体的に緑泥石化の鉱物学的変質を受け、酸化~粘土化を呈している。</p>		
131	05	131.20 131.27		5GY 6/1 灰	b	IV	B	β	2	24	14	C _M	<p>・132.41~134.33 m: C_M 岩片は堅硬であり、一部は密着度の低い中層割れ目 0° < φ30mm 前後に分離・細片化している部分あり。 1/2 未同化・未変質で下部に P 層と割れ目換在物に分布する。</p> <p>・133.00~133.60 m 間は中層割れ目 0° の φ30mm 前後に分離 (多い) の粘土粘土は付着する。</p> <p>・133.39~133.85 m: φ2~3mm 暗緑色の緑泥石斑点を呈し、石基が濃緑化し、色調は暗緑 (10G5Y)。 (明片-灰)</p>
132	05	131.60		2.5YR 6/2 灰褐	b	III	B	β	2	73	21	C _H	<p>・134.35 m: φ0~φ0.5mm 暗緑色の厚さ 1~2mm 緑泥石粘土と 20 以上厚さ 15mm の φ5~10% 新成土あり。</p>
133	05	132.41		5GY 7/1 灰	b	IV	B	β	2	25	25	C _M	<p>・134.33~139.66 m: C_H 堅硬・塊状 2/3 未同化・未変質 中層割れ目 15° 少量分布あり、周囲と同化し、1/2 の色調を呈する (2m)</p> <p>・134.56~134.70 m: 緑泥石化の暗緑色 (10G5Y) あり。</p>
134	05	133.39 133.85		2.5YR 6/2 灰褐	b	IV	B	β	2	0	5	C _M	
135	05	134.33 134.36 134.70 134.92		5GY 6/1 灰 2.5YR 6/2 灰褐 2.5YR 7/2 灰	b	III	B	β	2	11	11	C _H	

調査名

孔番・深度

H-7 B-3 (145 ~ 150)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 145 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	0.5											
146				2.5YR 4/2 灰褐	6	IV	B	β	2	32	11	CM
	0.5											
147	147.00P		Gp		X	X	X	X	X	13	13	
	0.5											
148					6	III	B	β	2	37	25	CH
	0.5											
149	149.37			2.5YR 6/3 R2.5 褐						62	22	
	0.5											
150										32	11	

・145.37m 50割目面に厚さ1.5%の2~10%の細片状の結晶は硬質、切片にははさまない。

・145.20m 50中層割目面に厚さ約10%の緑泥石化、結晶色を呈す。

・146.56~147.00m 60~70%中層割目面に分離した同割目面Lena。各割目面はほぼ均一に新鮮な状態に分布している。

147.00P~150.59m: CH
堅硬・塊状
同割目面は均一に分布している。中層割目面は同割目面より、残留20%中層割目面は周囲と同化、劣化度が高く、1/2~1割目面は分離している。
各割目面はほぼ均一に分布している。粗化は新鮮。

・148.48m 65割目面に厚さ1%の緑泥石化の固結粘土が中に付着している。

・149.20~149.36m 149割目面は均一に劣化は伴っていない。

調査名

孔番・深度

H=7B-3 (150 ~ 155)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (50 m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの向き	風化	変質				
	0.5	150.59			✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 39	✓ 15	CH	<p>150.04 ~ 150.59 m. 50 ~ 80° 厚 2.5 ~ 10 cm 以下の緑泥石細脈が分布。大半は周囲と同化し、同一割れ目化している。</p> <p>150.41 ~ 150.47 m 緑泥石脈中に厚さ 10% の石英 EV 2 層に付着する。</p> <p>150.59 ~ 151.57 m: CH 20 ~ 40° と 70 ~ 80° 割れ目の変遷。同一割れ目の割合が異なる。</p>
151	0.5	151.57		2.5GR 1/3 1.5m 割	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 39	✓ 15	CM	<p>151.21 m. 85° 割れ目の一部で厚さ 2% の φ 2mm 細片化部がある。</p> <p>151.50 ~ 151.52 m. 石英と暗褐色鉱物が共生して分布。</p>
152	0.5	152.23	Gp		✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 25	✓ 15	CH	<p>151.57 ~ 152.23 m: CH 堅硬、塊状 割れ目の傾斜は幅 0.5% 程度に緑泥石化が認められ、中割れ目の大半は垂直度が高く、ハニの付着が分離し、細片化している。一部は同化している。粘土質はほとんどない。</p> <p>151.47 ~ 151.52 m. 緑泥石化と珪化の進行が硬化した。</p>
	0.5	152.36		2.5GY 5/1 緑灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 25	✓ 15	CH	<p>152.23 ~ 153.85 m: B 堅硬、塊状で割れ目はほぼ垂直。割れ目傾斜は分布する。割れ目中傾斜割れ目の一部は割れ目に緑泥石化が認められる。</p> <p>152.50 ~ 152.67 m は上部で厚さ 10 ~ 20% の石英脈に囲まれた「2.5GY 5/1 緑灰」であり、角率は基質と同化して変化した。</p>
153	0.5	153.85		2.5GY 6/3 1.8m 割	✓ b	✓ II	✓ B	β	2	✓ 70	✓ 43	B	<p>153.20 m 付近に φ 10% と大型・褐色の角長石斑晶が点在。</p> <p>153.25 ~ 153.60 m. 60 ~ 80° と高角不規則脈の傾斜割れ目の割合が分布する。垂直度高く同化しない。</p>
154	0.5	154.42		2.5GY 6/3 緑灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 95	✓ 36	CH	<p>153.85 ~ 154.60 m: CH 堅硬、塊状</p> <p>154.42 ~ 154.60 m は緑泥石化の進行が硬質で上部は割れ目の変遷が片状化が認められ、傾斜が黄鉄鉱と付着以外に粘土質はほとんどない。</p>
	0.5	154.60		2.5GY 6/3 1.5m 割	✓ b	✓ II	✓ B	β	2	✓ 43	✓ 21	B	<p>154.60 ~ 156.18 m: B 堅硬、塊状で割れ目がある。</p> <p>154.25 m 付近に 60 ~ 80° の高角不規則脈の傾斜割れ目の割合が分布する。垂直度高く、ハニの付着が認められる。</p>

調査名		孔番・深度		H27B-3 (155 ~ 160)		観察日							
標尺 155 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
155	0.5				✓ b	✓ II	✓ B	β	2	✓ 78	✓ 30	B	<p>・155.25m: 70~80°割れ目 2: 変質部 一部の中層割れ目 1: 割れ目 (方位不明)</p> <p>・156.77~156.80m 一部に緑泥石化 (φ 30% の斑状に緑泥石化部。軽化は伴わない。</p> <p>・156.00~156.14m: 白色筋状の中層割れ目の一部は割れ目の中層割れ目より著しくなる。</p> <p>156.18~159.24m: CH</p> <p>堅硬、塊状。一部は長さ20cm以上の柱状に劈理を有する長さ10~20cm (III) の主体。割れ目中層割れ目の一部は緑泥石化部より著しくなる。</p> <p>・156.50~156.90m: 割れ目の変質。一部に片状化部が挟在物は分布する。</p>
156	0.5	156.18			✗	✗	✗	✗					
157	0.5		Gp	254R b/3 (20%弱)	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 28	✓ 16	CH	<p>・157.00m 以下は 20~40°割れ目が主体</p> <p>・157.35~157.89m: 割れ目の石基も緑泥石化。緑泥色帯あり。</p> <p>・157.83~157.89m: 30°程度に 2~3% の増緑泥色の緑泥石 0.5% 弱の配列性ありて存在する。</p> <p>・158.20~158.30m: φ 10% 前後の大型割れ目石が点在。</p> <p>・158.54m と 158.62m に 70~80° 厚 1~2% の石英割れ目緑泥石帯の分布。よく著しく、分離性あり。</p> <p>・158.54m 以下は石基も割れ目の緑泥石化の進行が著しく、軽化は伴わない。堅硬である。</p>
158	0.5	158.54		254R 4/1 暗緑灰						✓ 53	✓ 26		
159	0.5	159.24			✗	✗	✗	✗		✓ 61	✓ 32	B	<p>159.24~160.40m: B</p> <p>堅硬、塊状の割れ目あり。</p> <p>緑泥石化に割れ目暗緑色の中層割れ目の中層割れ目と多量含む。堅硬で変質高く、ハニエの進行が分離性あり。割れ目緑泥石帯の分布あり。</p> <p>全体に緑泥石化の進行。暗緑灰色の主体である。緑泥石化の弱い部分は白色の塊状の塊状。全体の色調は 20% 弱の模様が呈する。</p>
160										✓ 93	✓ 32		

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 160 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	160.32			2.5GY 4/1 暗緑灰	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	159.65m ~ 160.32m 割れ目 20% 割れ目 20% (割れ目 20% 程度)
	160.40			2.5YR 6/4 灰褐色	X	X	X	X		45	22		
	161.10			2.5GY 4/1 緑灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	✓	161.10 ~ 161.69m φ5%前後と大型の暗緑色・緑泥石斑斑状を含む。20%、上部割れ目 161.10 ~ 161.24m は基底を含む全帯で緑泥石斑斑状・通孔・緑色斑斑状。
	161.24			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	✓	
	162.46		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	X	X	X	X		26	13		162.12 ~ 162.18m φ10%前後と大型の橙色の片長石が点在する。
	162.57			2.5YR 5/2 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	162.46 ~ 162.57m φ0~20%の中割れ目 5~20% 傾向で平行に分布。割れ目 10%、162.57m 割れ目 10% 程度。
	163.50			2.5YR 5/2 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	162.57 ~ 166.65m: B 堅硬、塊状で 20cm 以上の長柱状が主体。一部に厚 1~2mm の白色筋状の中間割れ目が発達する。割れ目は高く、162.57m 割れ目 10% 程度。割れ目には石英と片状化には乏しい。橙色の片長石が層状部分を含む。この部分では色調が橙褐色 (R50 程度) を呈している。緑泥石斑斑状は割れ目中や割れ目間に分布し、全帯で 20% 程度の斑斑状が認められる (20% 程度)。
	164.00			2.5YR 6/4 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	163.50 ~ 163.60m 高角度割れ目が交差し、一部で片状化が顕著。片状は堅硬で、粘土質は硬くはない。面の一部に黄鉄鉱の晶出(20%)。
	164.94			2.5YR 6/4 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	164.00 ~ 164.30m φ10%と大型の橙色の片長石と同径・緑泥色の緑泥石斑斑状が混在する。
	165.00			2.5YR 6/4 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	164.50m φ50% 緑泥石斑斑状。石英と石英質の二次鉱物も認められる。
	165.94			2.5YR 6/4 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	164.94m φ50% 割れ目上盤側に厚さ 20% の石英質の緑泥石斑斑状を分布。上部境界は堅硬。

2.5YR 6/4 灰褐色 166.65

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (165 ~ 170)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 165 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	0.5			2.5YR 6/4 灰褐色	b	II	B	β	2		B	164.95 ~ 165.89 m. 褐色の片状石の含有が下位に比して多くなり、色調も褐色系(12.5YR 褐色)を呈す。
	165.89									98	46	165.32 m. 70°割れ目は、165.32 m. の8YRの褐色の片状石の割れ目。また、変質が割れ目の一部にみられる(目録付・変位量 2~3mm 程度)。本割れ目面には、金髪肌も認められる。
	166			2.5YR 6/2 灰褐色								165.80 ~ 166.10 m. φ 10~20 μm の石英が多量にみられる。一部は地形の輪郭型を示す。熱水変質で緑泥石化と石英の晶出が認められる。
	0.5			2.5YR 5/1 褐色	x		x	x	x			166.44 ~ 166.47 m. φ 10 μm 斑状~長 20~30 μm、幅 5 μm の石英の晶出。
	166.51											166.65 ~ 167.21 m: CH
	166.65											一部に、割れ目の多い、片状・堅硬で、粘土中の割れ目の挟持物は分布しない。
	167		Gp	2.5Y 4/1 暗緑灰	b	III	B	β	2	77	63	167.00 m 以下深部は緑泥石化が進み、暗緑灰色を呈す。
	0.5			2.5YR 6/2 灰褐色	x		x	x	x			167.21 ~ 167.55 m: CM
	167.00											節理状の中等割れ目の交差。節理状の硬結で、片状は堅硬で挟持物は分布しない。
	167.21											167.55 ~ 169.66 m: CH
	167.24											堅硬、塊状で、長さ 20cm 以上の管柱状で、10~20cm の柱状が主体。
	0.5			2.5YR 6/2 灰褐色	x		x	x	x			節理状の中等割れ目を含んでおり、容易度は高く、1~2 の強度も分布しない。
	167.55									36	21	全体に緑泥石化し、40~50% 暗緑灰色の斑点状の晶出(2点程度)。割れ目中中等割れ目を含んで分布するものは少ない。緑泥石化が進む部分は色調が暗緑灰色を呈す。
	168											割れ目には粘土、27% の挟持物は分布しない。一部で緑泥石化や黄鉄鉱晶出が認められる。
	0.5											168.48
	169			2.5Y 4/1 暗緑灰								169.19 ~ 169.41 m. 緑泥石化が進み暗緑灰色化が、軟化は伴わずに堅硬
	0.5			2.5YR 6/2 灰褐色	x		x	x	x			169.50 m 以下深部で 2~3 μm の緑泥石が斑状に晶出。
	169.19									67	25	169.66 ~ 172.07 m: B
	169.41											堅硬、塊状で割れ目が少ない。
	169.66											一部に節理状の中等割れ目を含んでおり、容易度は高く、含泥(ない)。
	170									43	18	

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 170 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	170.34 (沖4965)			ス5YR 5/2 灰褐							<ul style="list-style-type: none"> 169.67 ~ 170.22 m. ϕ 2 ~ 3 mm の暗緑灰色緑泥石が斑状に多量に晶出。 170.20 ~ 170.65 m. 60 ~ 70° の中層割れ目が数本分布するが、密着度が高く、ハ2の塩析で分離しない。
	0.5			ス5YR 5/1 褐灰							
	171							91	77		<ul style="list-style-type: none"> 171.00 ~ 171.08 m. ϕ 10 mm の大型の橙色の斜長石が晶出し、斑状。 171.29 m. 割れ目が交差部で交差部同色に片状化しない。
	0.5			ス5YR 5/2 灰褐	b	II	B	β	2		B
	172		Gp					87	49		
	0.5										<ul style="list-style-type: none"> 172.05 m. 割れ目が交差部で、交差部同色に片状化しない。 172.32 ~ 172.53 m. ϕ 2 ~ 3 mm の暗緑色の緑泥石が幅 0.5 ~ 1 mm の石英細粒を伴って、斑状に晶出し、斑状。
	173			ス5YR 6/3 灰褐	b	III	B	β	2		CH
	0.5							62	37		<ul style="list-style-type: none"> 172.69 ~ 174.13 m: CH ^{長柱状} 堅硬、塊状で、コア長 20 cm 以上のコアを含む。10 ~ 20 cm の柱状コア主体。 一部は緑泥石化し、割れ目中層割れ目を経て細粒状に ϕ 1 ~ 3 mm の斑状に晶出し、割れ目面で行方な結晶は認められない。細粒部は石英細粒で充ちた。
	174							58	28		
	0.5			ス5YR 6/1 褐灰	b	II	B	β	2		B
	175							100	62		<ul style="list-style-type: none"> 173.66 ~ 176.73 m. 岩層度の低い中層割れ目 10 ~ 20% 間隔で分布。ハ2の塩析で分離。細粒部は結晶の塊状分布は少ない。 173.93 m. 43° 割れ目は ϕ 5 mm の橙色の斜長石を伴う。 174.13 ~ 175.55 m: B 堅硬、塊状で、一部の割れ目交差部で、長径約 10 cm 片状化すること、コア長 20 cm 以上の長柱状コア主体。 一部は白色、筋状の中層割れ目を含む。密着度が高く、ハ2の塩析で分離しない。 上位側には緑泥石化が認められる。